令和６年度（2024 年度）

学生募集要項

── 看護学研究科（修士課程）──

東京医療保健大学大学院

目　　　　次

１．入学者受け入れの方針・・ 1
２．教育課程編成・実施の方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
３．学位授与の方針・・・ 3
４．標準修業年限及び学位・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
５．募集人員・・・ 4
６．出願資格・・・ 5
７．事前相談・・・ 6
８．出願資格審査・・ 6
９．出願期間・試験日・・ 7
10. 出願方法・・・ 7
11. 入学検定料・・・ 7
12. 出願書類・・・ 8
13. 試験会場・・・ 9
14. 選考方法及び試験科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
15. 合格発表・入学手続・・・ 10
16. 学納金・・・ 10
17. 奨学金制度・・・ 11
18. 入学辞退する場合の取り扱い・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
19. 個人情報の取り扱いについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
20. 入学式・・・ 11
21. 問い合わせ先・・・ 12
授業科目と修了要件及び授業の実施方法
　高度実践看護コース・・ 13
　高度実践助産コース（助産師プログラム）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
　高度実践助産コース（助産師免許取得プログラム）・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
　高度実践公衆衛生看護コース・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
　看護科学コース（看護教育・研究者プログラム）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
　看護科学コース（看護管理者プログラム）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
指導教員研究分野及び連絡先・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20

１．入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

現代の医療は、日々、高度化、複雑化し、専門化が進んでおり、国民・患者の医療に対するニーズも多様化しております。その一方で、医療の現場では、医師不足に伴う救急医療における患者の受け入れ拒否、産科病棟の閉鎖、ハイリスク妊婦の受け入れ先及び NICU 病床の不足等の課題が指摘されるなどの諸問題を抱えております。また、看護の基礎教育の大学化が急速に進む中で、看護研究教育に係ることのできるスキルを備えた教育者の確保も極めて困難な状況にあります。

大学院看護学研究科では、高度な判断力、実践力及び教育研究・管理能力を通して、医療・保健・福祉に対する時代・社会のニーズに的確・迅速に対応し、チーム医療を支えることができる高度実践看護職の育成、また、研究・教育の探究を通して、看護学の発展に寄与することができる人材を育成します。

〔高度実践看護コース〕

救急医療などの現場において、5 年以上の看護実践経験を持ち、本コースにて高度で専門的医療提供に必要な知識、技術を身に付け、患者ニーズに対応したタイムリーな医療を提供でき、医療従事者間のスキルミックスにより、チーム医療のキーパーソンとして自律的に活躍できる能力を備えた高度な看護職、すなわちクリティカル領域で活躍する診療看護師（ＮＰ）を育成します。

本コースでは、医療における「看護」の役割を充分認識したうえで、救急医療を含むクリティカル領域で、医師等と連携・協働してプライマリ診療の実践に自律的に取り組む情熱を持った学生を求めています。

〔高度実践助産コース〕

科学的裏付けを活用した高度な実践力、助産学の発展に寄与する研究能力および地域母子保健分野でのリーダーシップ力を持つ自律した助産師の育成を目指しています。

本コースの助産師免許取得プログラムでは、①生命誕生に関わり、母子とその家族を支援したいと強く願う学生②豊かな感性と倫理観をもつ学生③看護学における基礎的知識・技術を持ち、意欲的で主体的に学ぶ学生④高度な助産実践力を習得し社会に貢献したいと願う学生を求めています。

助産師プログラムでは、①科学的裏付けに基づき助産実践力の探究と助産技術の研鑽をかさねたスペシャリストを目指す学生②リプロダクティブヘルス/ライツの精神に基づき、女性の健康支援と安心して子育てができる地域母子保健事業や国際助産など幅広い分野で活躍できる学生③研究手法を習得し助産学に貢献したいと願う学生を求めています。

〔高度実践公衆衛生看護コース〕

少子高齢化の急速な進展に伴い、住民の健康増進・疾病予防等を支援し、我が国の健康寿命の延伸に貢献できる保健師の能力を育成していくことが重要です。地域の住民の特性を的確に把握し、自立を支えることを通して、地域住民のヘルスリテラシーを高め、さらには地域のソーシャル・キャピタル等を高めることができる保健師の育成を目指しています。また、産業保健活動を通して就労者の健康支援ができる保健師の育成も目指しています。

本コースでは、保健師としての目的意識及び 21 世紀の保健師に求められる将来像を明確にもち、実践家又は教育研究者を目指して自律的に取り組む情熱を持った学生を求めています。

〔看護科学コース〕

看護学の発展・進化及び看護のさらなる質向上を目指すために、研究マインドを持って看護学の基礎教育に関わることができる「看護教育・研究者」や、実際の医療保健の現場においてエビデンスに基づいた看護マネジメントができる「看護管理者」を育成します。

本コースでは、科学的な視点から看護学を探究し、自らもエビデンスを創出し、エビデンスに基づいた看護実践・管理にまで発展させることを目指して、自律的に取り組む情熱を持った学生を求めています。

２．教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

大学院看護学研究科は、科学技術に基づく正確な医療保健の学問的教育・研究及び臨床活動を通じて学際的・国際的視点から医療保健学を伝授し臨床現場における卓越した実践能力及び研究・教育・管理能力を有する高度職業人の育成を図ることを理念として定めており、本学の建学の精神、理念・目的及び学位授与方針に基づき、「教育課程編成・実施の方針」を制定します。

〔高度実践看護コース〕

1. 看護職としての専門性を高め、臨床の多様な状況において総合的な判断ができ、チーム医療の一員として高度な実践ができる能力を備えた人材を育成するための教育課程を設定し提供します。
2. 「状況を総合的に判断（診察・包括的健康アセスメント）できる能力」の養成を主眼にカリキュラムを編成します。
3. 状況に対応した安全・安心な医療を提供できる能力の養成を主眼にカリキュラムを編成します。
4. 病院実習では、クリティカル領域で必要とされる、診断・検査・治療の方法を修得し、多様な医療ニーズに対応できる実践能力を養うため、医師臨床研修医制度に基づく初期臨床研修（救命救急センター）のプログラムを活用し提供します。
5. 保健師助産師看護師法第 37 条の 2 にある特定行為 21 区分 38 行為全ての研修プログラムを教育課程に組み込んだプログラムを提供します。

〔高度実践助産コース〕

1.助産学を支える倫理と理論を基盤とし、自律して自然分娩の介助ができる能力をもち、院内・院外助産システムを担う教育課程を設定し提供します。
2.多様化する分娩様式に対応できる助産実践能力の習得を目指し、専門的で質の高い助産技術と周産期の救急時対応について実学を通して学ぶカリキュラムを編成します。
3. 変化する地域社会の中で母子とその家族の状況を把握する分析力を習得し、サスティナビリティ（持続可能性）のある母子保健事業の企画・運営ができる能力を養うカリキュラムを編成します。
4. 人間の尊重とすべての女性のリプロダクティブヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康と権利）の保障を目的に、地域共生社会の実現に向けた支援ができるカリキュラムを編成します。
5.助産学の発展のために、研究マインド、研究手法の基本を修得し、EBPM（Evidence Based Practical Midwifery）を実践できる能力を養成するカリキュラムを編成します。
6.医療職および他分野の専門職者から最新の知見や技術について実学を通して学び、助産におけるイノベイティブ(革新的)な創造力を養うカリキュラムを編成します。

〔高度実践公衆衛生看護コース〕

1.社会の多様な課題に対応できる高度な能力を有する保健師の養成を主眼にカリキュラムを編成します。
2.地域住民の自立を支える能力を有する保健師の育成を目的として、住民の自立を支える公衆衛生看護活動について実学を通して学ぶことができるカリキュラムを編成します。
3.政策や保健事業をプランニング・コーディネーション・マネジメントのできる保健師の育成を目指して、実際の企画から予算管理、当日の運営に至るまでを実学を通して学ぶことができるカリキュラムを編成します。
4.疫学・統計学の基礎を理解し、分析や研究を通して、支援の展開につなげることができるカリキュラムを編成します。
5.災害、新興・再興感染症、児童虐待といった公衆衛生上の様々な危機管理への対処能力のある保健師を育成するためのカリキュラムを編成します。

〔看護科学コース〕

1.看護学の発展・進化及び看護の質向上に寄与することができる研究能力及び教育能力、また実際の医療保健の現場においてエビデンスに基づいた看護マネジメントができる能力の養成を主眼としたカリキュラムを編成します。
2.高等教育における看護基礎教育において看護の対象であるヒト、人、人間を理解するために必須とされる看護の基盤となる学問領域に関する研究教育能力をもった人材を育成するための教育課程を設定します。
3.高等教育における看護基礎教育において各専門領域の看護学に関する研究教育能力をもち、学部学生の臨地実習指導、新人看護師等の現任教育、生涯教育・卒業教育への支援や指導ができる人材を育成するための教育課程を設定します。
4.臨床現場においてリーダーシップを発揮し、エビデンスに基づく看護マネジメントができ、トップマネジメントもできる看護管理者を目指すと共に、また看護学のスキルをベースに社会の保健ニーズに柔軟に対応できる研究教育能力をもった人材を育成するための教育課程を設定します。

３．学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

大学院看護学研究科では、高度実践看護、高度実践助産、高度実践公衆衛生看護、看護科学のいずれかの教育プログラムを通して、次に掲げる能力を修得した者にそれぞれ修士（看護学）、修士（助産学）、修士（看護学）、修士（看護学）の学位を授与します。

〔高度実践看護コース〕

大学院看護学研究科看護学専攻高度実践看護コースにおいては、2 年以上在学し、所定の単位を修得するとともに、必要な研究指導を受け、かつ、特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格した者であり、次に掲げる能力を有すると認められる者に修士(看護学)の学位を授与します。

1.クリティカル領域における患者の状況を総合的に判断する能力。
2.クリティカル領域における患者に必要な治療を実践できる能力。
3.患者に安心・安全な医療をタイムリーかつ効果的に提供するために医師等との協働ができ、ネットワークを推進できる能力。
4.専門職としての倫理的意思決定能力。
5.高度看護実践者として、教育的経営的な視点をもつトップマネジメント能力。
6.臨床実践に潜む暗黙知を形式知へと創出する研究開発能力。
7.クリティカル領域における患者の危機的状況を支援する能力。

〔高度実践助産コース〕

大学院看護学研究科看護学専攻高度実践助産コース(助産師プログラム及び助産師免許取得プログラム)においては、2 年以上在学し、所定の単位を修得するとともに、必要な研究指導を受け、かつ、修士の学位論文審査または特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格した者であり、次に掲げる能力を有すると認められる者に修士(助産学)の学位を授与します。

1.自律して自然分娩の支援ができる能力。
2.院内・院外助産システムを担うことができる能力。
3.女性の生涯にわたる健康を支援できる能力。
4.周産期の救急時に対応できる能力。
5.多職種と連携・協働し、質の高い助産ケアを提供できる能力。
6.研究・開発能力。
7.倫理的意思決定能力。

〔高度実践公衆衛生看護コース〕

大学院看護学研究科看護学専攻高度実践公衆衛生看護コースにおいては、2 年以上在学し、所定の単位を修得するとともに、必要な研究指導を受け、かつ、特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格した者であり、次に掲げる能力を有すると認められる者に修士(看護学)の学位を授与します。

1.多様な課題に対応する高度な実践力
2.地域住民の自立を支える統合的支援能力
3.地域の健康課題を科学的にアセスメント・分析する能力
4.政策や保健事業を開発する能力
5.災害対応や新興・再興感染症への危機管理能力
6.公衆衛生看護・公衆衛生行政に繋がる研究能力

〔看護科学コース〕

大学院看護学研究科看護学専攻看護科学コースにおいては、2 年以上在学し、所定の単位を修得するとともに、必要な研究指導を受け、かつ、修士の学位論文審査及び最終試験に合格した者であり、次に掲げる能力を有すると認められる者に修士(看護学)の学位を授与します。

看護教育・研究者プログラム

1.看護学の継承・発展を担うための研究能力。
2.臨床現場で「つかえる」エビデンスを「つくり」「つたえる」ことができる能力。
3.臨床現場との連携を図りながら看護基礎教育を担うことができる能力。
4.実践を行いながら学部学生の臨地実習指導、新人看護師等の現任教育、生涯教育・卒後教育への支援や指導ができる能力。

看護管理者プログラム
1.看護管理学の継承・発展を担うために必要な研究能力。
2.臨床現場で「つかえる」エビデンスを「つくり」「つたえる」ことができる能力。
3.看護管理者として、臨地においてリーダーシップを取りながら、エビデンスに基づく看護マネジメントができる能力。
4.ヒト・モノ・カネ・情報等のシステム的管理能力の向上。
5.病院管理者の一員として管理者能力を養い、病院経営に積極的に参加する姿勢 。

４．標準修業年限及び学位

専攻／コース／プログラム		学位	標準修業年限
看護学専攻	高度実践看護コース ※全日制(一部の科目は夜間(18:00～21:10)及び必要に応じて土曜日)	修士 (看護学)	2 年
	高度実践助産コース ・助産師プログラム ※助産師資格を有する者が高度実践能力を身に付け、修士の学位取得を目指します。 金・土曜日開講制（昼間 9:00～17:50） 夏冬期休暇期間に集中講義 但し、2 年目の実習期間は全日制 ・助産師免許取得プログラム ※助産師国家試験受験資格の取得を目指すとともに、高度実践能力を身に付け修士の学位取得を目指します。 全日制(一部の科目は夜間(18:00～21:10)及び必要に応じて土曜日)	修士 (助産学)	
	高度実践公衆衛生看護コース ※全日制(一部の科目は夜間(18:00～21:10)及び必要に応じて土曜日)	修士 (看護学)	
	看護科学コース ・看護教育・研究者プログラム 金・土曜日開講制（昼間 9:00～17:50） 夏冬期休暇期間に集中講義 ・看護管理者プログラム 金・土曜日開講制（昼間 9:00～17:50） 夏冬期休暇期間に集中講義	修士 (看護学)	

５．募集人員（40 名）

専攻／コース		募集人員	
		前期（9 月）※1	後期（12 月）※1
看護学専攻	高度実践看護コース	15 名程度	10 名程度
	高度実践助産コース	7 名程度※2	若干名
	高度実践公衆衛生看護コース	若干名※2	若干名
	看護科学コース	8 名程度	若干名

※1　前期・後期いずれの入学試験で合格しても、入学は令和 6 年 4 月です。
※2　東が丘看護学部学生特別選抜を含む。

６．出願資格

○高度実践看護コース

以下の出願条件の各号のいずれかを満たし、令和６年３月末現在で医療機関等において、常勤の看護職（准看護師は除く）として**実務経験が５年以上ある者**（出願時点で実務経験が５年未満であっても、令和６年３月末までに実務経験が５年に達する者を含む。）とする。

○高度実践助産コース

以下の出願条件の各号のいずれかを満たし、助産師免許取得プログラムにおいては看護師免許取得者又は看護師免許取得見込みの者(女子に限る)とし、助産師プログラムにおいては助産師免許取得者又は助産師免許取得見込みの者とする。

○高度実践公衆衛生看護コース

以下の出願条件の各号のいずれかを満たし、看護師免許取得者又は看護師免許取得見込みの者とする。

○看護科学コース

・看護教育・研究者プログラム

以下の出願条件の各号のいずれかを満たす者。

・看護管理者プログラム

以下の出願条件の各号のいずれかを満たし、令和６年３月末現在で看護免許取得後、常勤の看護師（准看護師を除く）として**実務経験が通算６年以上ある者**（出願時点で実務経験が６年未満であっても､令和６年３月末までに実務経験が６年に達する者を含む。）とする。（看護管理の経験があることが望ましい）

【出願条件】

(1)　大学を卒業した者（法第 102 条）又は令和６年３月卒業見込みの者
(2)　大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者（施行規則第 155 条第１項第１号）又は令和６年３月末日までに授与される見込みの者
(3)　外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者（施行規則第 155 条第１項第２号）
(4)　外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の 16 年の課程を修了した者（施行規則第 155 条第１項第３号）
(5)　我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学日本校）を修了した者（施行規則第 155 条第１項第４号）
(6)　外国の大学等において、修業年限が３年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者（施行規則第 155 条第１項第４号の 2）
(7)　指定された専修学校の専門課程（文部科学大臣指定専修学校専門課程一覧）を修了した者（施行規則第 155 条第１項第５号）
(8)　旧制学校等を修了した者（昭和 28 年文部省告示第５号第１号～第４号、昭和 30 年文部省告示第 39 号第１号）
(9)　防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した者（昭和 28 年文部省告示第５号第５号～第 12 号、昭和 30 年文部省告示第 39 号第２号）
(10)　本大学院において個別の入学資格審査により認めた者で、令和６年４月１日現在で満 22 歳以上の者（施行規則第 155 条第１項第８号）

※(10)に該当する者は、出願資格審査を受けること。

７．事前相談　※高度実践助産コース助産師プログラム及び看護科学コースのみ

高度実践助産コース助産師プログラム及び看護科学コースを出願する者は、指導を希望する研究分野の教員と事前に面談し、入学後の研究・教育について了解を得た上で出願してください。（連絡先：20 ページ）

８．出願資格審査

出願資格の(10)により出願を希望する者は、事前に出願資格審査を行うので、次の書類を提出してください。

(1)　**受付期間（前期）令和 5 年 7 月 21 日（金）から令和 5 年 7 月 28 日（金）まで（必着）**
　　受付期間（後期）令和 5 年 11 月 10 日（金）から令和 5 年 11 月 17 日（金）まで（必着）

(2)　判定方法

①　書類審査　　提出書類により、出願資格の判定を行います。

②　出願資格判定　前期については、**令和 5 年 8 月 4 日（金）**に、後期については、**令和 5 年 11 月 24 日（金）**に出願資格の判定結果を本人宛に発送いたします。判定結果の学内掲示は行いません。
尚、電話等による判定結果の問い合わせには一切応じません。

(3)　送付先

〒152-8558　東京都目黒区東が丘２－５－１
東京医療保健大学　東が丘事務部

※　市販の封筒に「出願資格審査書類在中」と朱書きし、簡易書留で郵送してください。

(4)　提出書類

提出書類	高度実践看護コース	高度実践助産コース	高度実践公衆衛生看護コース	看護科学コース		摘　　要
				看護教育・研究者プログラム	看護管理者プログラム	
①出願資格審査申請書	○	○	○	○	○	本学所定用紙
②成績証明書	○	○	○	○	○	最高学歴（短期大学・専修学校等）の出身学校長が作成したもの。最高学歴が看護系養成課程ではない看護職の場合、看護系養成課程のものも併せて提出。
③卒業証明書又は卒業見込証明書	○	○	○	○	○	最高学歴（短期大学・専修学校等）の出身学校長が作成したもの。最高学歴が看護系養成課程ではない看護職の場合、看護系養成課程のものも併せて提出。
④業績調書（研究業績）	△	△	△	△	△	研究業績がある方のみ提出。 本学所定用紙及び論文等の写し。 （業績例：看護系学会等の学術集会又は研究発表会においての発表、看護系学会等が発行するジャーナル等への学術論文等の掲載又は掲載受理。）
⑤資格証明書（写）	○	△	△	－	○	看護師免許証の写し。（既取得者のみ提出） A4 サイズ用紙にコピーすること
	－	△	－	－	－	助産師免許証の写し。助産師プログラム希望者のうち、既取得者のみ提出。 A4 サイズ用紙にコピーすること
⑥在職期間証明書	○	－	－	－	○	常勤の看護職（准看護師は除く）として出願資格（5 ページ）を満たす実務経験年数を証明する書類（勤務先が発行する在職期間証明書）

△　…　摘要欄を参照し、当てはまる方のみご提出ください。

９．出願期間・試験日

<table>
<tr><th colspan="2">専攻／コース</th><th>出願期間</th><th>試験日</th></tr>
<tr><td rowspan="4">看護学専攻</td><td>高度実践
看護コース</td><td rowspan="2">（前期）
令和５年８月16日（水）
～8月25日（金）郵送に限る（必着）</td><td rowspan="2">（前期）
令和５年９月２日(土)</td></tr>
<tr><td>高度実践
助産コース</td></tr>
<tr><td>高度実践
公衆衛生看護
コース</td><td rowspan="2">（後期）
令和５年11月27日（月）
～12月８日（金）郵送に限る（必着）</td><td rowspan="2">（後期）
令和５年12月16日(土)</td></tr>
<tr><td>看護科学
コース</td></tr>
</table>

（注）試験は、午前９時から筆記試験、午後１時から面接試験を予定しています。
受験票は、出願期間終了後に発送いたします。試験日２日前までに届かない場合は東が丘事務部（TEL:03-5779-5031）までご連絡ください。

10. 出願方法

(1) 出願書類をまとめ、市販の封筒に「大学院出願書類在中」と朱書きし、簡易書留で郵送してください。直接持参による受付は行いません。

(2) 送付先　〒152-8558　東京都目黒区東が丘２－５－１
東京医療保健大学　東が丘事務部

(注 1) 出願手続後の提出書類の変更は認めません。

(注 2) 提出された書類及び入学検定料は、いかなる理由によっても返還しません。

11. 入学検定料

(1) 35,000 円

(2) 振込用紙（Ａ・Ｂ・Ｃ票）に必要事項を記入の上、最寄りの銀行からお振込みください。
なお、Ａ票の受験コードは、下記のとおりです。

<table>
<tr><th rowspan="2">高度実践看護
コース</th><th colspan="2">高度実践助産コース</th><th rowspan="2">高度実践
公衆衛生看護
コース</th><th rowspan="2">看護科学
コース</th></tr>
<tr><th>助産師免許取得
プログラム</th><th>助産師プログラム</th></tr>
<tr><td>７１１</td><td>７２１</td><td>７３１</td><td>７４１</td><td>７５１</td></tr>
</table>

12. 出願書類

提出書類	高度実践 看護コース	高度実践 助産コース	高度実践 公衆衛生 看護コース	看護科学コース		摘　　要
				看護教育 ・研究者 プログラム	看護管理者 プログラム	
①入学願書	○	○	○	○	○	本学所定用紙（所定欄に写真を貼付）
②受験票・写真票	○	○	○	○	○	本学所定用紙（所定欄に写真を貼付）
③検定料振込受付証明書（C票）	○	○	○	○	○	35,000 円を所定の振込用紙で金融機関から振り込むこと。（B票は本人保存用）
④成績証明書※2	○	○	○	○	○	最高学歴（大学・大学院等）の出身学校長が作成したもの。最高学歴が看護系養成課程ではない看護職の場合、看護系養成課程のものも併せて提出。
⑤卒業証明書又は卒業見込証明書※2	○※1	○※1	○※1	○※1	○※1	最高学歴（大学・大学院等）の出身学校長が作成したもの。最高学歴が看護系養成課程ではない看護職の場合、看護系養成課程のものも併せて提出。
⑥受験票発送用封筒	○	○	○	○	○	定型封筒（長形 3 号）に、郵便番号、住所、氏名を明記し、所定の切手（674 円）を貼付（速達・簡易書留）。
⑦学位授与証明書	△※1	△※1	△※1	△※1	△※1	大学評価・学位授与機構から学位を授与された者のみ提出。今年度中に授与見込みの場合は、別途対応しますので、事前に問い合わせ先までご連絡ください。(問い合わせ先：13 ページ)
⑧自己推薦書	○	○	○	○	―	本学所定用紙（1,000 字以内）
⑨業績調書（研究業績）※2	△	△	△	△	△	研究業績がある方のみ提出。 本学所定用紙及び論文等の写し。 （業績例：看護系学会等の学術集会又は研究発表会においての発表、看護系学会等が発行するジャーナル等への学術論文等の掲載又は掲載受理。）
⑩看護管理に関する研究計画	―	―	―	―	○	本学所定用紙（1,000 字以内）
⑪資格証明書（写）※2	○	△※1	△※1	―	○	看護師免許証の写し。(既取得者のみ提出) A4 サイズ用紙にコピーすること。
	―	△※1	―	―	―	助産師免許証の写し。助産師プログラム希望者のうち、既取得者のみ提出。 A4 サイズ用紙にコピーすること。
⑫在職期間証明書※2	○※1	―	―	―	○※1	常勤の看護職（准看護師は除く）として出願資格（5 ページ）を満たす実務経験年数を証明する書類（勤務先が発行する在職期間証明書）
⑬所属長の推薦書	△	△	△	△	○	本学所定用紙 病院長又は所属長の推薦書
⑭勤務先の受験許可書	△	△	△	△	△	本学所定用紙（在職したまま、在学を希望する者のみ）
⑮出願資格認定書（写）	△	△	△	△	△	出願資格審査で認定された方のみ （今年度発行のもののみ有効）

△… 摘要欄を参照し、当てはまる方のみご提出ください。
※1　見込みで受験した者は、受験資格を満たす書類(⑤卒業証明書、⑦学位授与証明書、⑪資格証明書(看護師・助産師)、⑫在職期間証明書を入学後、速やかにご提出ください。なお、書類が提出されない場合は、入学を取り消します。
※2　出願資格認定で出願を認められた方は、上記書類のうち ④ ⑤ ⑨ ⑪ ⑫ の提出は不要です。

13. 試験会場

東京医療保健大学　国立病院機構キャンパス
東京都目黒区東が丘２－５－１

14. 選考方法及び試験科目

筆記試験、面接及び出願書類を総合して行います。

〔高度実践看護コース〕

(1)筆記試験
看護学に関する総合的な基礎知識を問います。（120 分）
必修問題 4 問
(2)面接試験　1 人 15 分程度

〔高度実践助産コース〕

①助産師免許取得プログラム
(1)筆記試験
看護学の基礎知識と母性看護学の知識を問います。（120 分）
必修問題 3 問
(2)面接試験　1 人 15 分程度

②助産師プログラム
(1)筆記試験
助産学に関する知識と論理的思考力（小論文）を問います。（120 分）
必修問題 3 問（うち 1 問は小論文）
(2)面接試験　1 人 15 分程度

〔高度実践公衆衛生看護コース〕

(1)筆記試験
看護学に関する総合的な基礎知識を問います。（120 分）
必修問題 3 問（うち 1 問は小論文）
(2)面接試験　1 人 15 分程度

〔看護科学コース〕

①看護教育・研究者プログラム
(1)筆記試験
保健・医療分野に関する知識と論理的思考力を問います。
また、一部の問題は、英語の能力を問います。（120 分）
〔辞書（電子辞書は除く）1 冊を持ち込むことができます。〕
(2)面接試験　1 人 15 分程度

②看護管理者プログラム
(1) 面接試験　1 人 15 分程度
(2) 看護管理に関する研究計画（出願時提出）

15. 合格発表・入学手続

合格発表	入学手続期間
（前期）令和５年　９月　８日(金) （後期）令和５年 12 月 22 日(金)	（前期）令和５年　９月 11 日（月）～ 令和５年　９月 25 日（月） （後期）令和５年 12 月 25 日（月）～ 令和６年　１月　９日（火）

(1)　合否結果は合格発表日に郵送いたします。(到着は翌日以降になります。)また、合格者には合格通知書と入学手続き書類も郵送いたします。学内掲示は行いません。
　尚、電話等による合否の問い合わせには一切応じません。

(2)　合格者は、上記の入学手続き期間内に入学手続きを完了してください。

(3)　上記の入学手続き期間内に入学手続きを完了しないものは、入学の意思がないものとみなし、合格を取り消します。

(4)　入学手続きの詳細については、合格通知書送付の際に通知します。

(5)　卒業見込み又は学位授与見込みで入学手続きをした者で、令和 6 年 3 月末までに卒業、又は学位取得ができなかった者は、入学を取り消します。

(6)　看護師免許取得見込み又は助産師免許取得見込みで入学手続きをした者で、看護師免許又は助産師免許を取得できなかった場合は、入学を取り消します。

(7)　高度実践看護コースに合格した者が、入学時点で常勤の看護職（准看護師は除く）として実務経験が 5 年に満たない場合は、入学を取り消します。

(8)　看護科学コース看護管理者プログラムに合格した者が、入学時点で常勤の看護職（准看護師は除く）として実務経験が 6 年に満たない場合は、入学を取り消します。

16. 学　納　金

[1 年次納入金]	高度実践看護コース	高度実践助産コース		高度実践公衆衛生看護コース	看護科学コース
		助産師プログラム	助産師免許取得プログラム		
入学手続時納入金	1,084,500 円	1,284,500 円	1,384,500 円	1,184,500 円	1,084,500 円
入学金	500,000 円	500,000 円	500,000 円	500,000 円	500,000 円
授業料(前期分)	500,000 円	500,000 円	500,000 円	500,000 円	500,000 円
総合補償掛金(年額)	4,500 円	4,500 円	4,500 円	4,500 円	4,500 円
パソコン使用料	80,000 円	80,000 円	80,000 円	80,000 円	80,000 円
臨地実習費(2 年分)	－	200,000 円	300,000 円	100,000 円	－
学生納入金(後期分)	500,000 円	500,000 円	500,000 円	500,000 円	500,000 円
合　計	1,584,500 円	1,784,500 円	1,884,500 円	1,684,500 円	1,584,500 円

[2 年次納入金]	高度実践看護コース	高度実践助産コース		高度実践公衆衛生看護コース	看護科学コース
		助産師プログラム	助産師免許取得プログラム		
学生納入金(前期分)	500,000 円	500,000 円	500,000 円	500,000 円	500,000 円
学生納入金(後期分)	500,000 円	500,000 円	500,000 円	500,000 円	500,000 円
総合補償掛金(年額)※	4,500 円	4,500 円	4,500 円	4,500 円	4,500 円
臨地実習費	200,000 円	－	－	－	－
合　計	1,204,500 円	1,004,500 円	1,004,500 円	1,004,500 円	1,004,500 円

(1)　入学生は、総合補償（日本看護学校協議会共済会の共済制度「Will 2」）への加入を義務付けています。
　また、臨地実習時には、上記保険に看護専門職の研修保証制度（will+e-kango）の追加補償に加入していただく場合があります。
※2 年次の掛金は、2 年次前期納入金の預金口座振替時にいただくこととなります。

⑵　高度実践助産コース、高度実践公衆衛生看護コースでは、入学後、実習前に退学した場合でも、臨地実習費は返還いたしません。
⑶　実習施設によっては、別途、交通費及び宿泊費がかかります。
⑷　学生納入金は、前期・後期の分納となっております。1 年次後期以降の学生納入金は、前期分を毎年 4 月 27 日に、後期分を毎年 10 月 27 日に、預金口座振替により納入していただくことになります。（口座振替日が土曜日、日曜日、祝日の場合は、翌営業日となります。）
⑸　入学金は、理由の如何を問わず返還いたしません。入学金以外の学生納入金については、入学手続後に返還することがあります。（後記の「入学辞退する場合の取り扱い」参照）
⑹　本学学部を卒業した者が本学大学院修士課程に入学した場合は、入学金を免除します。
⑺　入学後、学納金以外に教材費が 10 万円前後かかります。

17. 奨学金制度

日本学生支援機構による奨学金制度
⑴種　　類
第一種（無利子貸与）：貸与額　月額 50,000 円、88,000 円から希望により選択が可能
第二種（有利子貸与）：貸与額　月額 50,000 円、80,000 円、100,000 円、130,000 円、150,000 円から選択が可能
⑵　募集時期　毎年春
⑶　選考方法　本学の選考を経た後、当該機関の審査により採用が決定します。

東京都看護師等修学資金（貸付金）による奨学金制度
⑴　貸与金額
月額 25,000 円、50,000 円、75,000 円、100,000 円（無利子貸与・返還金免除規定あり）
⑵　募集時期　毎年春
⑶　選考方法　本学の選考を経た後、当該機関の審査により採用が決定します。
（いずれも令和 5 年度実績）

18. 入学辞退する場合の取り扱い

入学手続完了後、やむをえない理由により入学を辞退する場合、令和 6 年 3 月 15 日（金）（郵送に限る・消印有効）までに、「入学辞退届」及び「納入金一部返還願」を提出してください。入学金を除く入学手続時納入金を返還します。
尚、令和 6 年 4 月 1 日（月）以降の入学辞退の申し出については、入学手続時納入金は返還いたしません。

19. 個人情報の取り扱いについて

本学における入学志願者の個人情報の取り扱いについては、下記のとおりとします。
⑴　出願書類により入手した住所、氏名、その他の個人情報について、①願書に不備があった場合の連絡、②合格した場合の合格通知書、入学手続書類や入学式等の案内の送付・連絡、③入学後の各種案内の送付・連絡、④入学後のクラス編成、クラス名簿の作成を行うために利用し、それ以外の用途には一切使用しません。
⑵　個人を特定しない形での統計処理結果については、パンフレット、ホームページ等で公表します。

20. 入学式

令和 6 年 4 月 3 日（水）
（新入生ガイダンスは、4 月 1 日（月）以降を予定しています。）

21.問い合わせ先

〒152-8558　東京都目黒区東が丘２－５－１
東京医療保健大学　東が丘事務部
TEL　　: 03-5779-5031（平日 9:00 から 17:00 まで）
FAX　　: 03-5431-1481
e-mail　: higashigaoka-po@thcu.ac.jp

授業科目と修了要件及び授業の実施方法

〔高度実践看護コース〕

(1)　授業科目

科　目	配当年次及び単位数				１単位当たりの時間数
	必修	選択	1年次	2年次	
クリティカルＮＰ特論	1		1		１５
人体構造機能論・演習	2		2		１5/３０
クリティカル疾病特論	2		2		３０
診察・診断学特論（包括的健康アセスメント）	2		2		１５
フィジカルアセスメント学演習	2		2		３０
臨床推論	3		3		３０
診断のためのＮＰ実践演習	2		2		３０
臨床薬理学特論	2		2		１５
治療のためのＮＰ特論	2		2		１５
治療のためのＮＰ実践演習	6		6		３０
統合演習	2			2	３０
統合実習	１７			１７	４５
コンサルテーション・インフォームドコンセント特論	1		1		１５
ＮＰによるチーム医療特論	1		1		１５
医療安全特論	1		1		１５
政策医療特論	1		1		１５
医療倫理特論	1		1		１５
感染症マネジメント	1		1		３０
ラボラトリー・メソッド特論		2	2		１５
保健医療福祉システム特論		2	2		１５
看護教育学特論		2	2		１５
看護管理学特論		2	2		１５
研究特論	2		2		１５
原著論文講読	2		2		３０
課題研究	5		5		３０
計	５８	8	４２	２４	

(2)　修了要件について

２年以上在学し、所定の科目について６２単位以上を修得するとともに、必要な研究指導を受け、かつ、特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格しなければならない。

(3)　授業の実施方法

原則として平日 8 時 30 分から 17 時 10 分に授業を行う。

但し、一部の科目は夜間（18 時 00 分～21 時 10 分）及び必要に応じて土曜日に開講することがある。

〔高度実践助産コース（助産師プログラム）〕

(1)　授業科目

科　目		配当年次及び単位数				1単位当たりの時間数
		必修	選択	1年次	2年次	
基礎助産学	家族社会学特論		1	1		１５
	乳幼児の成長発達論		1	1		１５
	助産フィジカルアセスメント学演習		1	1		３０
助産診断技術学	助産臨床推論	1			1	１５
	実践助産学特論	2		2		１５
	実践助産学演習	1		1		３０
	高度実践助産学演習		1	1		３０
生殖健康学	ウイメンズヘルス特論		1	1		１５
	ウイメンズヘルス演習		1	1		３０
	不妊症・遺伝看護学特論		1	1		１５
助産管理学	助産管理学特論		2	2		１５
	地域助産活動論	2		2		１５
地域母子保健学	地域母子支援活動論	1		1		１５
	災害助産活動論		1	1		１５
	国際助産活動論		1	1		１５
実践助産学	助産実践力強化演習	3		3		３０
	高度実践助産学実習	6		6		４５
共通科目	医療倫理特論	1		1		１５
	ラボラトリー・メソッド特論		2	2		１５
	保健医療福祉システム特論		2	2		１５
	看護教育学特論		2	2		１５
	看護管理学特論		2	2		１５
	保健統計学	2		2		１５
	ITコミュニケーション特論		1	1		１５
研究	研究特論	2		2		１５
	ＥＢＰＭ探究論（エビデンスに基づいた助産実践）	1		1		１５
	助産学特別研究	8		8		３０
計		３０	２０	３６	１４	

(2)　修了要件について

２年以上在学し、所定の科目について３３単位以上を修得するとともに、必要な研究指導を受け、かつ、修士の学位論文審査及び最終試験に合格しなければならない。

(3)　授業の実施方法

社会人が働きながら就学できるように、金曜日・土曜日及び夏冬期休暇期間に集中的に開講する。

〔高度実践助産コース（助産師免許取得プログラム）〕

(1)　授業科目

科　目		配当年次及び単位数				1単位当たりの時間数
		必修	選択	1年次	2年次	
基礎助産学	助産学概論	1		1		１５
	生殖機能学（正常・異常）	2		2		１５
	助産薬理学特論	1		1		１５
	助産栄養学特論	1		1		１５
	家族社会学特論		1	1		１５
	乳幼児の成長発達論		1	1		１５
	助産フィジカルアセスメント学演習	1		1		３０
助産診断技術学	助産臨床推論	1			1	１５
	妊娠期診断・技術学	1		1		１５
	分娩期診断・技術学	1		1		１５
	産褥期診断・技術学	1		1		１５
	新生児期診断・技術学	2		2		１５
	助産診断・技術学演習	3		3		３０
	実践助産学特論	2		2		１５
	実践助産学演習	1		1		３０
生殖健康学	ウイメンズヘルス特論	1		1		１５
	ウイメンズヘルス演習	1		1		３０
	不妊症・遺伝看護学特論		1	1		１５
助産管理学	助産管理学特論	2		2		１５
	地域助産活動論	2		2		１５
地域母子保健学	地域母子保健学特論	1		1		１５
	地域母子保健学演習	1		1		３０
	災害助産活動論	1		1		１５
	国際助産学特論	1		1		１５
実践助産学	助産学基礎実習	4		4		４５
	助産実践力開発実習	4		4		４５
	助産実践力発展実習	3			3	４５
	地域助産学実習	6		6		４５
共通科目	医療倫理特論	1		1		１５
	ラボラトリー・メソッド特論		2	2		１５
	保健医療福祉システム特論		2	2		１５
	看護教育学特論		2	2		１５
	看護管理学特論		2	2		１５
	保健統計学		2	2		１５
	ITコミュニケーション特論		1	1		１５
研究	研究特論	2		2		１５
	ＥＢＰＭ探究論（エビデンスに基づいた助産実践）	1		1		１５
	高度実践助産学研究	7		7		３０
計		５６	１４	５５	１５	

(2)　修了要件について

２年以上在学し、所定の科目について６２単位以上を修得するとともに、必要な研究指導を受け、かつ、特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格しなければならない。

(3)　授業の実施方法

原則として平日 9 時 00 分から 17 時 50 分に授業を行う。

但し、一部の科目は夜間（18 時 00 分～21 時 10 分）及び必要に応じて土曜日に開講することがある。

〔高度実践公衆衛生看護コース〕

(1)　授業科目

科　目		授業科目	配当年次及び単位数				１単位当たりの時間数
			必修	選択	１年次	２年次	
公衆衛生看護学	基礎公衆衛生看護	公衆衛生看護学概論	2		2		１５
		コミュニティアセスメント論	1		1		１５
		公衆衛生看護活動論	1		1		１５
		地域成人・高齢者保健論	1		1		１５
		地域精神保健論	1		1		１５
		公衆衛生危機管理論	1		1		１５
		感染症マネジメント	1		1		１５
		健康教育方法論	1		1		１５
		産業保健学	1		1		１５
		学校保健学	1		1		１５
		国際保健学	1		1		１５
		コミュニティアセスメント演習	1		1		３０
		自立支援教育特論演習Ⅰ	2		2		３０
		自立支援教育特論演習Ⅱ	2			2	３０
	応用公衆衛生看護	ソーシャルマーケティング	1		1		１５
		住まいつくり論	1		1		１５
		疾病予防・自立支援教育特論Ⅰ	3		3		１５
		疾病予防・自立支援教育特論Ⅱ	3			3	１５
疫学・保健統計学		医療保健疫学	2		2		１５
		医療保健疫学演習	2		2		３０
		保健統計学演習	2		2		３０
保健医療福祉政策論		公衆衛生関連法規	2		2		１５
		行政論	1		1		１５
		公共政策論	2		2		１５

科　目	授業科目	配当年次及び単位数				１単位当たりの時間数
		必修	選択	１年次	２年次	
公衆衛生看護学実習	公衆衛生看護学実習Ⅰ	４		４		４５
	公衆衛生看護学実習Ⅱ	１		１		４５
	地域包括ケア実習	１			１	４５
	地域診療所実習	１			１	４５
共通科目	地域母子保健学演習	１		１		３０
	保健統計学	２		２		１５
	保健医療福祉システム特論	２		２		１５
	医療倫理特論	１		１		１５
	ラボラトリー・メソッド特論		２	２		１５
	看護政策特論		１	１		１５
	政策医療特論		１	１		１５
	地域母子保健学特論		１	１		１５
	ITコミュニケーション特論		１	１		１５
	地域保健学特論Ⅰ		２	２		１５
研究	研究特論	２		２		１５
	高度実践公衆衛生看護学研究	７		７		３０
計		５８	８	５６	１０	

(2)　修了要件について

２年以上在学し、所定の科目について６１単位以上を修得するとともに、必要な研究指導を受け、かつ、特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格しなければならない。

(3)　授業の実施方法

原則として平日 9 時 00 分から 17 時 50 分に授業を行う。

但し、一部の科目は夜間（18 時 00 分～21 時 10 分）及び必要に応じて土曜日に開講することがある。

〔看護科学コース（看護教育・研究者プログラム）〕

(1)　授業科目

科　目		授業科目	配当年次及び単位数				1単位当たりの時間数
			必修	選択	1年次	2年次	
共通科目		◎研究特論	2		2		15
		◎看護理論	2		2		15
		◎医療倫理特論	1		1		15
		◎看護政策特論	1		1		15
		ラボラトリー・メソッド特論		2	2		15
		保健医療福祉システム特論		2	2		15
専門科目	看護教育科学領域	○看護教育学特論Ⅰ		2	2		15
		○看護教育学特論Ⅱ		2	2		15
		○看護教育学特論Ⅲ		2	2		15
		○看護教育学特論Ⅳ		2		2	15
		○看護教育学演習Ⅰ		2	2		30
		○看護教育学演習Ⅱ		2	2		30
		○看護教育学演習Ⅲ		2		2	30
		□看護科学研究特論Ⅰ		2	2		15
		看護科学研究特論Ⅱ		2		2	15
	臨床看護学領域	□小児看護学特論Ⅰ		2	2		15
		小児看護学特論Ⅱ		2	2		15
		□母性看護学特論Ⅰ		2	2		15
		母性看護学特論Ⅱ		2	2		15
		□成人・老年看護学特論Ⅰ		2	2		15
		成人・老年看護学特論Ⅱ		2	2		15
		□精神看護学特論Ⅰ		2	2		15
		精神看護学特論Ⅱ		2	2		15
		□臨床看護学演習Ⅰ		2	2		30
		臨床看護学演習Ⅱ		2		2	30
	応用看護学領域	□看護管理学特論Ⅰ		2	2		15
		看護管理学特論Ⅱ		2	2		15
		□地域保健学特論Ⅰ		2	2		15
		地域保健学特論Ⅱ		2	2		15
		□応用看護学特論		2	2		15
		応用看護学演習		2		2	30
		◎看護教育学特別研究	2			2	30
特別研究		◎保健統計学	2		2		15
		◎特別研究	10		10		30
計			20	54			

◎…必修科目　○…看護教育者を目指す者の選択科目　□…看護研究者を目指す者の選択科目

(2)　修了要件について

２年以上在学し、所定の科目について３４単位以上を修得するとともに、必要な研究指導を受け、かつ、修士の学位論文審査及び最終試験に合格しなければならない。

(3)　授業の実施方法

社会人が働きながら就学できるように、金曜日・土曜日及び夏冬期休暇期間に集中的に開講する。

〔看護科学コース（看護管理者プログラム）〕

(1)　授業科目

科　目			配当年次及び単位数				１単位当たりの時間数
			必修	選択	1年次	2年次	
共通科目		研究特論	2		2		１５
		看護理論	2		2		１５
		医療倫理特論	1		1		１５
		看護政策特論	1		1		１５
		ラボラトリー・メソッド特論		2	2		１５
		ヘルスケアシステム特論	2		2		１５
専門科目	看護基盤科学領域	健康生命科学特論Ⅰ		2	2		１５
		健康生命科学特論Ⅱ		2	2		１５
		精神保健学特論Ⅰ		2	2		１５
		精神保健学特論Ⅱ		2	2		１５
		看護教育学特論Ⅰ	2		2		１５
		看護教育学特論Ⅱ		2	2		１５
		看護基盤科学演習Ⅰ		2	2		３０
		看護基盤科学演習Ⅱ		2		2	３０
	臨床看護学領域	小児看護学特論Ⅰ		2	2		１５
		小児看護学特論Ⅱ		2	2		１５
		母性看護学特論Ⅰ		2	2		１５
		母性看護学特論Ⅱ		2	2		１５
		成人・老年看護学特論Ⅰ		2	2		１５
		成人・老年看護学特論Ⅱ		2	2		１５
		臨床看護学演習Ⅰ	2		2		３０
		臨床看護学演習Ⅱ		2		2	３０
	応用看護学領域	組織管理学	2		2		１５
		看護管理学特論(人材管理)	1		1		１５
		看護管理学特論(資源管理)	2		2		１５
		看護管理学特論(質管理)	2		2		１５
		地域保健学特論Ⅰ		2	2		１５
		地域保健学特論Ⅱ		2	2		１５
		放射線保健学特論Ⅰ		2	2		１５
		放射線保健学特論Ⅱ		2	2		１５
		応用看護学演習Ⅰ		2	2		３０
		応用看護学演習Ⅱ		2		2	３０
特別研究		保健統計学	2		2		１５
		特別研究	１０		１０		３０
計			３１	４２			

(修了要件外)	特別講義	2			2	１５

(2)　修了要件について

２年以上在学し、所定の科目について３１単位以上を修得するとともに、必要な研究指導を受け、かつ、修士の学位論文審査及び最終試験に合格しなければならない。

(3)　授業の実施方法

社会人が働きながら就学できるように、金曜日・土曜日及び夏冬期休暇期間に集中的に開講する。

事前相談の指導教員研究分野及び連絡先

〔高度実践助産コース（助産師プログラム）〕

領　域	指導教員	研究分野	連絡先
母性看護学・助産学	島田　三惠子	・母性看護学 ・助産学	m-shimada@thcu.ac.jp

〔看護科学コース(看護教育・研究者プログラム、看護管理者プログラム)〕

領域	科　目	指導教員	研究分野	連絡先
看護教育科学	看護教育学	松山　友子 山西　文子	・基礎看護学 ・看護教育学	t-matsuyama@thcu.ac.jp f-yamanishi@thcu.ac.jp
臨床看護学	小児看護学	中島　美津子	・小児看護学	m-nakashima@thcu.ac.jp
	母性看護学	島田　三惠子	・母性看護学	m-shimada@thcu.ac.jp
	成人・老年看護学	竹内　朋子	・成人・老年看護学	t-takeuchi@thcu.ac.jp
	精神看護学	田中　留伊	・精神看護学	r-tanaka@thcu.ac.jp
応用看護学	看護管理学	竹内　朋子	・看護管理学	t-takeuchi@thcu.ac.jp
	地域保健学	明石　眞言	・公衆衛生学 ・看護学行政 ・家族看護学	m-akashi@thcu.ac.jp

令和6年度　東京医療保健大学大学院看護学研究科（修士課程）

入　学　願　書

記入日：　　月　　日

受験番号	※

（ふりがな） 氏　　名			
生年月日	（西暦）　　年　　月　　日生（満　　才）	性別	
コース プログラム □に✓を記入してください	□高度実践看護コース □高度実践助産コース 助産師プログラム □高度実践助産コース 助産師免許取得プログラム □高度実践公衆衛生看護コース □看護科学コース 看護教育・研究者プログラム □看護科学コース 看護管理者プログラム	写真貼付欄 縦４cm×横３cm 裏面に氏名記入 １．最近3カ月以内撮影 ２．上半身脱帽 ３．完全貼付	
実務経験年数	年　　月 令和6年3月31日時点の年数を記載して下さい。		
住　　所	〒　　－　　ＴＥＬ　　（　　）		

本人以外の入試に関する連絡先（家族等）	氏名		続柄	
	住所	〒　　－　　ＴＥＬ　　（　　）		

学　　歴（高等学校卒業からの学歴をすべて記入して下さい。）	
年　　月	
年　　月	
年　　月	
年　　月	
年　　月	
年　　月	
年　　月	

職　　歴（役職・職名・診療科名等も記入して下さい。）			
年　　月	（施設名）	（診療科名）	（役職・職名）
年　　月			
年　　月			
年　　月			
年　　月			
年　　月			
年　　月			
年　　月			
年　　月			

切り取り線

《裏面に続く》

看護管理に関する研修・資格試験（看護管理者プログラム出願者のみ）			
年　　月			
年　　月			
年　　月			
年　　月			
年　　月			
賞　　罰			
年　　月			
年　　月			
免 許 等	看護師　　年　月　日 第　　号	保健師　　年　月　日 第　　号	
	助産師　　年　月　日 第　　号	（　　）年　月　日 第　　号	
事前相談者 確　認　欄	㊞　＊事前相談者に記名捺印をいただいて下さい。		

（記入上の注意）　１．必要事項は、黒又は青のボールペンを用いて楷書で正確に記入してください。
２．住所欄は、通知・照会などを確実に受けることができる場所を記入してください。
３．※欄は、記入しないでください。　４．消せるボールペンは使用できません。

自　己　推　薦　書

東京医療保健大学大学院看護学研究科（修士課程）

ふりがな	
氏　名	

受験番号	※

切り取り線

(注)
1.※欄は、記入しないでください。
2.パソコン等使用により作成する場合は、本様式に直接又は本様式に準じて A4 判で作成してください。
　なお、本様式は下記 URL よりダウンロードできます。
　(https://www.thcu.ac.jp/graduate/nursing/admission)
3.消せるボールペンは使用できません。
4.1,000 字以内で記入してください。

業　績　調　書

（研　究　業　績）

東京医療保健大学大学院看護学研究科（修士課程）

ふりがな	
氏　名	

受験番号	※

1．論文等名称　2．共著者名又は共同発表者名　3．発行又は発表の年月 4．発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称　5．概要(200 字以内) （項目番号を付し、それぞれの内容を記入する。）

切り取り線

(注)

1.※欄は、記入しないでください。

2.パソコン等使用により作成する場合は、本様式に直接又は本様式に準じてA4判で作成してください。
　なお、本様式は下記 URL よりダウンロードできます。
　(https://www.thcu.ac.jp/graduate/nursing/admission/)

3.学術論文、学会抄録等は、別刷又は写しを添付してください。

4.消せるボールペンは使用できません。

看護管理に関する研究計画

東京医療保健大学大学院看護学研究科（修士課程）

ふりがな	
氏　名	

受験番号	※

切り取り線

（注）
1.※欄は、記入しないでください。
2.パソコン等使用により作成する場合は、本様式に直接又は本様式に準じて A4 判で作成してください。
3.消せるボールペンは使用できません。
4.1,000 字以内で記入してください。

所 属 長 の 推 薦 書

令和　　年　　月　　日

東京医療保健大学大学院
看 護 学 研 究 科 長　　殿

下記の者を、貴大学院看護学研究科（修士課程）に推薦いたします。

記

〔受験生の氏名〕 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

〔コースおよびプログラム名〕 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

〔推 薦 の 理 由〕

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

病院・機関名

職 名・氏 名　　㊞

切り取り線

受 験 許 可 書

令和　　年　　月　　日

東京医療保健大学大学院
看 護 学 研 究 科 長　　殿

この度、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿が貴大学院看護学研究科修士課程
（受験者氏名）
を受験することを許可します。

なお、本人が貴大学院に入学した場合、在職のまま在学することを認めます。

切り取り線

（所属長等の職名・氏名）

病院・機関名

所 属 ・ 職 名

氏　　名　　㊞

令和6年度　東京医療保健大学大学院看護学研究科（修士課程）

入学試験出願資格審査申請書

記入日：　　月　　日

（ふりがな）		性別	
氏　　名			
生年月日	（西暦）　　年　　月　　日生（満　　才）	写真貼付欄 縦４㎝×横３㎝ 裏面に氏名記入 １．最近3カ月以内撮影 ２．上半身脱帽 ３．完全貼付	
コース プログラム □に✓を記入してください	□高度実践看護コース □高度実践助産コース 助産師プログラム □高度実践助産コース 助産師免許取得プログラム □高度実践公衆衛生看護コース □看護科学コース 看護教育・研究者プログラム □看護科学コース 看護管理者プログラム		
実務経験年数	年　　月 令和6年3月31日時点の年数を記載して下さい。		
住　　所	〒　　－　　ＴＥＬ　　（　　）		

学　　歴（高等学校卒業からの学歴をすべて記入して下さい。）	
年　　月	
年　　月	
年　　月	
年　　月	
年　　月	

職　　歴（施設名、診療科名、役職・職名等も記入して下さい。）			
年　　月	（施設名）	（診療科名）	（役職・職名）
年　　月			
年　　月			
年　　月			
年　　月			
年　　月			
年　　月			

免　許　・　資　格	
年　　月	
年　　月	
年　　月	

看護管理に関する研修・資格試験（看護管理者プログラム出願者のみ）	
年　　月	
年　　月	
年　　月	
年　　月	

賞　　罰	
年　　月	
年　　月	

（記入上の注意）
１．必要事項は、黒又は青のボールペンを用いて楷書で正確に記入してください。
２．住所欄は、通知・照会などを確実に受けることができる場所を記入してください。
３．記入欄が足りない場合は、各欄の上に用紙を貼付し記入するか、別紙として裏面に貼付してください。
４．消せるボールペンは使用できません。

切り取り線

令和６年度 東京医療保健大学大学院
看護学研究科（修士課程）

受　験　票

受験番号	※
フリガナ	
氏　　名	
コース	□高度実践看護コース □高度実践助産コース 助産師プログラム □高度実践助産コース 助産師免許取得プログラム □高度実践公衆衛生看護コース □看護科学コース 看護教育・研究者プログラム □看護科学コース 看護管理者プログラム

写真貼付

１．最近３カ月以内撮影
２．上半身脱帽
３．写真裏面に氏名記入
４．縦４㎝×横３㎝

※欄は、記入しないでください。

切り取り線

切り離さないで大学院へ提出してください。

令和６年度 東京医療保健大学大学院
看護学研究科（修士課程）

写　真　票

受験番号	※
フリガナ	
氏　　名	
コース	□高度実践看護コース □高度実践助産コース 助産師プログラム □高度実践助産コース 助産師免許取得プログラム □高度実践公衆衛生看護コース □看護科学コース 看護教育・研究者プログラム □看護科学コース 看護管理者プログラム

写真貼付

１．最近３カ月以内撮影
２．上半身脱帽
３．写真裏面に氏名記入
４．縦４㎝×横３㎝

※欄は、記入しないでください。

切り取り線

【受験コードの記入について】

※志望コースの受験コードを記入してください。

⇩

銀行切り取り

A票

取扱銀行へお願い

・振込手数料は三菱UFJ銀行の本支店から振込む場合は無料です。
・ABC票の3ヶ所に必ず押印の上、BC票を振込人にお渡し下さい。
・自動振込機での振込みは出来ません。

振込人名は受験コード・学生氏名の順で必ず打印して下さい。

電信扱

振込依頼書（取扱店保存）

科目	

依頼日	令和　年　月　日		振込指定	電信扱	手数料	円
振込先銀行	株式会社 三菱UFJ銀行表参道支店			金額	￥35000円	
受取人 預金種目	普通預金	口座番号	1970705	内訳 現金		
受取人 口座名	トウキョウイリョウホケンダイガク			内訳 当手		
受取人 口座名	東京医療保健大学			内訳 他手		
受取人 連絡先	TEL.03-5799-3711					
ご依頼人（受験生） 受験コード						
ご依頼人（受験生） フリガナ						
ご依頼人（受験生） お名前	※必ず受験生本人の名前を明記してください。					
ご依頼人（受験生） ご住所	〒 TEL					

収入印又は振替印

※東京医療保健大学の設置主体は学校法人青葉学園です。

銀行切り取り

振込後出願者切り取り

B票

検定料 振込金（兼手数料）領収書（本人保存）

依頼日	令和　年　月　日			
金額	￥35000円			
振込先銀行	株式会社 三菱UFJ銀行表参道支店			
受取人 預金種目	普通預金	口座番号	1970705	
受取人 口座名	東京医療保健大学			
ご依頼人 お名前	※必ず受験生本人の名前を明記してください。			
ご依頼人 ご住所				
（備考）		手数料	円	

上記金額正に受取ました。

（取扱店）＿＿＿＿＿銀行
＿＿＿＿＿支店

収納印

（取扱店）→（依頼人）

諸注意とお願い
① ABC票を切り離さず銀行で振込んでください。
② 銀行印の押印を確認の上、BC票を受取ってください。
③ B票（領収書）は大切に保管してください。

振込後出願者切り取り

C票

検定料 振込受付証明書（学校提出用）

依頼日	令和　年　月　日			
金額	￥35000円			
振込先銀行	株式会社 三菱UFJ銀行表参道支店			
受取人 預金種目	普通預金	口座番号	1970705	
受取人 口座名	東京医療保健大学			
ご依頼人 お名前	※必ず受験生本人の名前を明記してください。			
ご依頼人 ご住所				
（備考）				

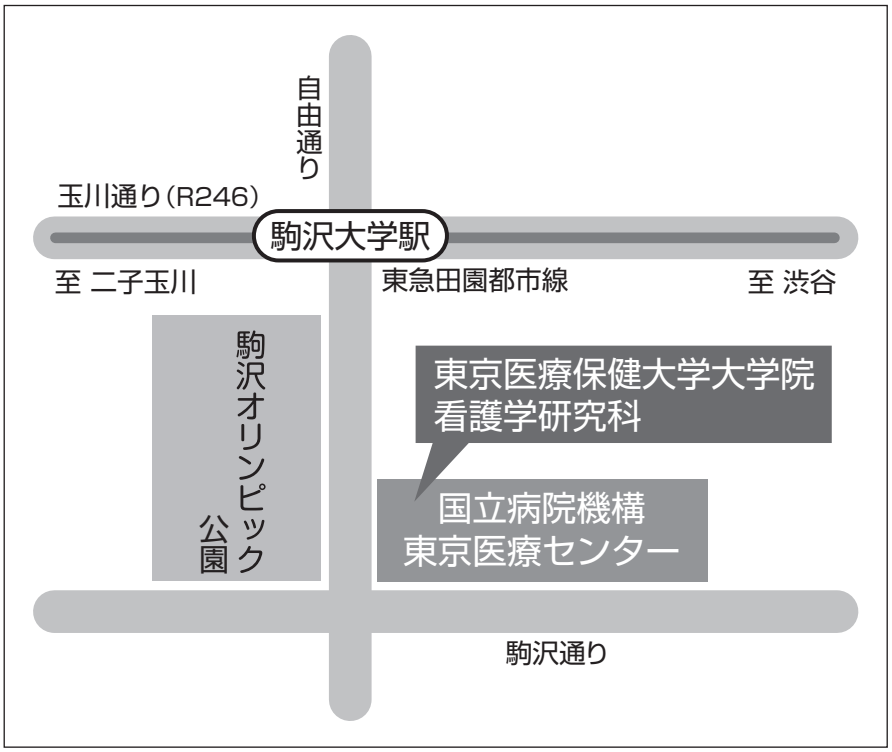
上記の通り振込の受付をしたことを証明します。

取扱店収納印のないものは無効です。

取扱銀行印

（取扱店）→（依頼人）→（学校）

東京医療保健大学は、平成30年度に公益財団法人大学基準協会の評価の結果、同協会の大学基準に適合していると認定されました。
認定期間は、2019（平成31）年4月1日より7年間（2026（令和8）年3月末日まで）となります。



〒152-8558 東京都目黒区東が丘 2-5-1
東京医療保健大学　東が丘事務部
TEL (03)5779-5031　FAX (03)5431-1481
e-mail: higashigaoka-po@thcu.ac.jp